

研究課題名	覚せい剤が口腔の健康に及ぼす影響とその機序の解明
研究期間	許可日 ～ 2028年3月31日
研究の対象	2017年10月1日～2027年9月30日に広島大学大学院医系科学研究科附属死因究明教育研究センターにおいて解剖が施行された方のうち100名
研究の目的・方法	<p>■研究目的：覚せい剤の使用によって重度のむし歯や歯肉炎・歯周炎が起りやすくなるといわれています。しかし、これまでそれらの薬物使用者・中毒者の歯肉及び歯周組織の病理組織像および薬物自身が歯肉や歯周組織の細胞に直接与える影響については明らかにされていません。覚せい剤による口腔の不健康状態の原因・機序を明らかにすること、それにより衛生状態を改善させることは、薬物乱用を抑制する社会のモチベーション向上の上で大きな意義があります。</p> <p>本研究では、法医解剖で実施した検査結果を検証し、覚せい剤が口腔健康に及ぼす影響とその機序を明らかにすることを目的とします。</p> <p>■研究の方法：解剖時に施行される諸検査の結果と全身の各部位の検査で使用した残りの検体を用いた研究です。氏名や報告書番号などの個人が特定できる情報を削除し、誰のものかわからないよう個人情報を加工したうえで死因究明教育研究センターのスタッフが解析を行います。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	情報：解剖報告書（死因、既往歴、現病、服薬履歴、体重、身長、性別、年齢）、CT画像、歯科エックス線画像、デンタルチャート、口腔写真、薬物検査結果、病理検査結果、病理組織標本
外部への試料・情報の提供	本学単独で行う研究のため、外部へ情報を提供することはありません。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2024年3月15日）以降
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものかわからないようにします。
研究組織	<p>本学の研究責任者</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科法医学 教授 奈女良 昭</p>
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結</p>

果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

〒734-8553 広島市南区霞1-2-3

tel. 082-257-5170

広島大学大学院医系科学研究科法医学 教授 長尾 正崇